

令和6年度 学校経営計画

富山県立富山西高等学校

1 学校教育目標

平和で豊かな社会の形成者となるにふさわしい人格の完成をめざし、全人教育を基礎として、生徒一人一人の能力・適性の伸長と創造的活力の育成に努める。

- (1) 勤労と責任を重んじ、社会の進展に貢献する実践力を培う。
- (2) 自主自立の気風を喚起し、進んで創意工夫する態度を養う。
- (3) 礼儀と協和を尊び、健康で明朗な心身の発達に努める。

2 学校の特徴

- (1) 多様な生徒の能力・適性に対応した自由選択科目を設置するとともに習熟度別学習指導を取り入れるなど、生徒各自が自己実現に向けて取り組めるよう、きめの細かい指導に努めている。
- (2) 婦中地区の行事のお手伝いや奉仕活動などのボランティア活動を実施し、地域との交流を深め、社会貢献への意識や福祉活動への関心を高めている。
- (3) 国際交流海外派遣事業を推進し、国際社会に適応できる生徒の育成に努めている。
- (4) 生徒の自主性・積極性を伸ばすために部活動を積極的に奨励している。特に、フェンシング部は輝かしい伝統と実績を誇っている。

3 学校の現状と課題

- (1) 本校生徒は、概ね温和で純朴であり、真面目に学校生活を送っている。しかし、積極性に欠け、主体的に行動して様々な課題に取り組もうとする意欲に乏しい生徒や、自己の将来に対する展望がもてないまま学校生活を送っている生徒も見受けられる。
- (2) 日常的な声かけや継続的な指導により、規律やマナーの向上が見られるが、悩みを抱えた生徒も少なからずいる。教師からの一方的な指導ではなく、生徒の心に寄り添った双方向の指導に努め、自己肯定感を高めさせることが必要である。そのためには、生徒や保護者とのコミュニケーションを密にし、より深い信頼関係を築かなければならない。また、カウンセラー等の外部機関との連携の必要性も高まっている。
- (3) 学習に対する意欲や自信をもてない生徒が見受けられる。数学や英語における習熟度別学習指導などを通し、各々の理解度に合った学習体験を積み重ねさせながら生徒に自信をもたせ、意欲を向上させて自主的に学習できるよう促していくことが必要である。
- (4) 本校生徒の進路希望先は多岐にわたっている。進路指導に係る行事等を数多く設定するとともに、それらの行事を生かして、主体的に進路を選択するよう生徒に促すことが必要である。また、基礎学力の定着や人格形成のためのキャリア教育を充実させ、生徒が将来、一社会人としてしっかり生きていけるよう指導していくことが大切である。

4 学校教育計画

項目		目標及び計画
1	授業力の向上 重点1	目標 ○多様な生徒に即応し、学習意欲を向上させるために、各自の授業を見直し、指導内容や方法を工夫する。 ○ICT機器を利用した授業を発展・充実させる。
		計画 ○他の教員の授業を参観しやすくするため、互見授業週間を設定し、学習教材の精選や指導方法の工夫に努める。 ○生徒個人用タブレット活用講習会を開催し、質の高い授業を展開できるように努めるとともに、ICT機器を活用した授業展開例などを教員間で共有する。
2	学校生活 重点2	目標 ○規則正しい生活習慣の確立と社会性を身に付けさせるとともに、実社会に適応・活躍するための常識と品性を備えた生徒を育成する。
		計画 ○規則正しい生活習慣を身に付けさせ、遅刻・早退・欠席の減少に取り組む。 ○生活実態調査を実施し、ネットトラブルについての状況を確認・把握するとともに、該当生徒については個別に注意喚起を行い、未然防止に努める。 ○本校の実態に即した内容で外部講師による講演会を開催するとともに、全校(学年)集会時の呼びかけを強化し、SNS等の正しい使用について理解を深めさせる。
		目標 ○保健だより等を通して、健康と安全について理解を深めさせ、基本的生活習慣の見直しと改善に取り組ませる。
		計画 ○基本的生活習慣を見直すために、「夜11時までの就寝」「毎朝、朝食を摂って登校」を重点にして、生活改善を図っていく。 ○保健委員会と協力して、楽しい雰囲気で行う工夫するとともに、保健だより等を通して生活改善の必要性を説いていく。
3	進路支援 重点3	目標 ○進路意識や目標をできるだけ早くもたせ、学習に対する主体性や積極性を育てる。 ○生徒ひとりひとりの進路目標の実現に向け、学校全体として適切な進路支援を計画的に行う。 ○新聞や書籍等の活用により、現代社会が抱える課題等について知るとともに、様々な生き方や考え方に触れさせることで、キャリア教育等の推進につなげる。
		計画 ○進路講演会や進路ガイダンス等を1,2年生で段階的に実施し、進路意識や進路目標をできるだけ早くもたせる。 ○進路支援においては、学年担当者を中心にしつつも、学校全体で取り組む体制を構築する。 ○読書の奨励や「新聞活用講座」等の開催により、生徒の自主的参加を促しつつ、将来の自分の進路に生かさせる。
4	特別活動 重点4	目標 ○部活動に目標をもって意欲的に取り組む生徒を増やし、部活動の活性化を図る。 ○ボランティア活動を通じて自主的、自律的な態度を育て、社会に適応し活躍できる生徒を育成する。
		計画 ○生徒が自主的に部活動を行い、また自ら企画・運営していけるように、リーダーの育成のための研修会等を企画する。 ○ボランティア活動の内容に応じて生徒の自主性・積極性を養うよう配慮するとともに地域社会の一員としての社会性と奉仕の精神を育成する。 ○ボランティア活動に関わる情報を速やかに生徒に伝え、できるだけ多くの生徒が参加できる体制を整える。
5	その他 重点5	目標 ○PTAの各種活動を充実させ、活性化を図るとともに、保護者等に学校の様子を周知するため、ホームページの一層の充実を図る。
		計画 ○PTA総会や保護者会を通して、PTAへの理解を深めてもらい、PTA役員会への参加を働きかける。 ○学校行事やPTA活動の記事などを、機会を捉えてホームページに掲載する。

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和6年度 富山西高校アクションプラン - 1 -	
重点項目	授業力の向上
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒に即応し、学習意欲を向上させるために、各自の授業を見直し、指導内容や方法を工夫する。 ICT 機器を活用した授業展開を工夫し、発展させる。 特にタブレットを用いた授業展開について、研究する。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対して意欲的に活動できない生徒が見受けられる一方、上級学校への進学に向けて、積極的に課題に取り組む生徒もいる。 各教室にプロジェクターが設置され、それらを活用した授業も数多く実施されるようになった。昨年度、ICT 機器を使った授業を実施した教員の割合が60%を超える程度であったが、更なる活用を促していきたい。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業参観を実施した教員の割合 50%以上 ICT 機器を使った授業を実施した教員の割合 70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 他の教員の授業を参観しやすくするため、互見授業週間を設定する。 全教員が教科の枠を取り払い、互見授業に意欲的に取り組み、学習教材の精選や指導方法の工夫に努める。また、授業後の感想を簡潔に伝えられるようにする。 ICT 活用研修会を数多く実施し、生徒が興味・関心を引くような質の高い授業を展開できるように努める。また、ICT 機器を活用した授業展開例などを教員間で共有し、今後の授業への参考になるようにする。

令和6年度 富山西高校アクションプラン - 2 -		
重点項目	学校生活	
重点課題	規則正しい生活習慣を確立し、社会性を身につけさせる	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で遅刻が非常に多く、生活・学業に様々な弊害が生じている。 登校しても脳が活性化されておらず、授業に集中できない生徒がいる。 	
達成目標	年間の遅刻回数を減少させる。	「夜11時までに就寝」の生徒の割合
	年間平均の1日の遅刻人数が5人未満 (遅刻の総数が1000未満)	「毎朝、朝食を摂って登校」の生徒の割合 「夜11時までに就寝」50%以上 「毎朝、朝食を摂って登校」80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会・学年集会など、機会を捉えて生徒に遅刻の弊害について知らせ、個々の生徒の自覚を促す。また、連続して遅刻した生徒については個別に注意喚起を行い、生活習慣の改善に努めるよう指導する。 「取り組み週間」を設定して、普段の生活を見直すよう働きかける。 保健委員会と協力して、楽しい雰囲気を取り組めるように工夫する。 保健だより等を通して、生活改善の必要性を説く。 	

令和6年度 富山西高校アクションプラン - 3 -	
重点項目	進路支援
重点課題	①3年間を見通したキャリア教育の推進を図る。 ②進路実現のための支援の充実を図る。 ③読書等によりさまざまな生き方や考え方に触れさせることで、キャリア教育等の推進につなげる。
現 状	自己の進路についての意識が希薄で、学年が進んでも明確な目標を見つけることができない生徒がいる。そのため、進路実現に向けた具体的な方策を各自で計画し、実施することが難しく、3年次における面接や小論文などの受験指導に多くの時間が費やされてしまっている。
達成目標	①1・2年生：キャリアガイダンスによって、自身の進路選択や進路目標が明確になった生徒の割合 1年生 60% 2年生 75% ②3年生：進路支援に満足した生徒の割合 3年生 75% ③「新聞活用講座」が、小論文や面接等進路面での対策として有意義だったと答えた生徒の割合 80%
方 策	①進路講演会や進路ガイダンスなどを1・2年生で計画的に実施し、進路意識の向上を図り、早期に進路目標を明確にさせる。また、進路目標の実現には、積極的に学習に取り組むことが大切であることを、多様な活動を通して伝えていく。 ②進路選択が多様であり、生徒ひとりひとりに合った進路支援を計画的に行う。特に、3年生については、学年の担当者を中心に、学校全体で生徒の進路を支援していくことのできる体制を構築していく。 ③今年度も、生徒の自主参加による「新聞活用講座」を実施する。富山短期大学や富山国際大学への受験も視野に、「看護・福祉クラス」「現代社会クラス」の2クラスを開設し、月1回のペースで放課後に実施する。 生徒が新聞を活用し、看護・福祉の現場や現代社会が抱える課題等について知り、将来の自分の進路に生かすことを目標とする。

令和6年度 富山西高校アクションプラン - 4 -	
重点項目	特別活動
重点課題	・生徒会や部活動の生徒を対象にリーダー研修会を実施し、集団の中でのリーダーとしての意識や能力を身につけさせる。 ・ボランティア活動を通じて自主的、自律的な態度を育てる。
現 状	・生徒会活動や各部活動において、教員のサポートがなければ活動等がうまく進まないという現状が随所でみられる。 ・各学校行事やボランティア活動に一生懸命に参加する生徒がいる一方で、活動意欲が不十分な生徒も見受けられる。
達成目標	リーダー研修を行う回数 年間6回以上 ボランティア活動に参加した生徒 30%以上
方 策	・リーダー研修会を行うことで生徒が自主的に活動や企画を考え、実行する力を身につけさせる。 ・ボランティア活動に関わる情報を速やかに生徒に伝え、できる限り多くの生徒が参加できる体制を整える。

重点項目	その他	
重点課題	<p>昨年度回復したコロナ禍以前の活気のある本校PTA活動を維持させ、PTA役員相互の連携を密にしながら本校独自の取り組み方を工夫する。</p> <p>生徒の活動や本校の活動をより多くの保護者や中学生等知ってもらえるようホームページ等の一層の充実を図る。</p>	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会を十分配慮しながらPTA活動を計画しなければならない。またPTA役員となっても会合に一度も出席できない保護者も若干いる。 ・教育・安全情報サービスで、様々な情報は流すものの、行事の内容を詳細に伝えることやビジュアル的に訴えることはできない。 	
達成目標	P T Aに関わる会合の実施回数	ホームページの記事等のアップ回数
	1 2 回以上	3 6 回以上 (月平均3回)
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会や保護者会等を通して、PTAへの理解を深めてもらい、PTA役員会や各行事への参加を働きかける。 ・学校行事やPTAの活躍の記事などを、機会を捉えてホームページに掲載する。 	